

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【公表番号】特表2009-512960(P2009-512960A)
 【公表日】平成21年3月26日 (2009.3.26)
 【年通号数】公開・登録公報2009-012
 【出願番号】特願2008-541170(P2008-541170)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 4 7 D

G 0 6 F 17/30 1 4 0

G 0 6 F 17/30 4 1 9 B

G 0 6 F 12/00 5 4 7 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月11日 (2009.12.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

コンピュータシステムの 1 つ以上のプロセッサによって実行されるサーバソフトウェア命令に従って、前記コンピュータシステムによって実行される方法であって、前記方法は

第 1 のリソースをレポジトリ内に格納する要求の前記コンピュータシステムによる受信に呼応して、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースをパースして、前記第 1 のリソースと前記レポジトリ内の第 2 のリソースとのリレーションシップを特定するリレーションシップ・データを前記第 1 のリソース内から取出しするステップと、

前記コンピュータシステムが、前記リレーションシップを表すリンクのタイプを判断するステップと、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースと前記第 2 のリソースとの間の前記リンクのタイプを使用して前記リレーションシップを特定する 1 つ以上のリレーションシップ・レコードを、データベース内に格納するステップとを実行し、

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソースとは別個に格納される、方法。

【請求項 2】

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソースから前記第 2 のリソースへのリンクのタイプを示し、前記リンクのタイプは、ハードリンク、ウィークリンク、及びシンボリックリンクのうちの 1 つである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記リンクのタイプは、ハードリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記レポジトリにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記リンクのタイプは、ウィークリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記レポジトリにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記リンクのタイプは、シンボリックリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 2 のリソースが駐在する、前記レポジトリ内のパスを指定することで前記第 2 のリソースを特定する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する要求の受信に呼応して、前記レポジトリ内に格納される少なくとも 1 つのリソースが、前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有するか否かを判断することと、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有すると判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する前記要求を拒否することと、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有しないと判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する前記要求を許可することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 1 つ以上のレコードは、前記リレーションシップを表示する方法を特定する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記リレーションシップは、第 1 のタイプであり、前記方法はさらに、

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードを前記データベース内に格納することに呼応して、前記第 2 のリソースに関連付けられるカウンタをインクリメントすることを含み、前記カウンタは、前記第 2 のリソースにおいて第 1 のタイプのリレーションシップを有する、前記レポジトリ内のリソースの数を示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

コンピュータシステムの 1 つ以上のプロセッサによって実行されるサーバソフトウェア命令に従って、前記コンピュータシステムによって実行される方法であって、前記方法は

、
前記コンピュータシステムが、レポジトリ内に第 1 のリソース及び第 2 のリソースを格納するステップを含み、前記第 1 のリソースは前記第 2 のリソースへのリンクを含まず、前記方法はさらに、

前記コンピュータシステムがレポジトリの中に第 1 のリソースおよび第 2 のリソースを格納した後、前記レポジトリに第 3 のリソースを格納する要求を受信するステップと、

第 3 のリソースを前記レポジトリ内に格納する要求の前記コンピュータシステムによる受信に呼応して、

前記コンピュータシステムが、前記第 3 のリソースをパースして、前記第 1 のリソースと前記第 2 のリソースとのリレーションシップを特定するリレーションシップ・データを取出しするステップと、

前記コンピュータシステムが前記リレーションシップを表すリンクのタイプを判断するステップと、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースから前記第 2 のリソースへの前記リンクのタイプの存在を示す 1 つ以上のリレーションシップ・レコードを、データベース内に格納するステップとを含み、

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソース及び前記第 2 のリソースのいずれとも別個に格納される、方法。

【請求項 10】

前記リンクは、ハードリンク、ウィークリンク、及びシンボリックリンクのうちの 1 つである、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記リンクのタイプは、ハードリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記データベースにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記リンクのタイプは、ウィークリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記データベースにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記リンクのタイプは、シンボリックリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 2 のリソースが駐在する、前記レポジトリ内のパスを指定することで前記第 2 のリソースを特定する、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記方法はさらに、

前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する要求の受信に呼応して、前記レポジトリ内に格納される少なくとも 1 つのリソースが、前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有するか否かを判断することと、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有すると判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する前記要求を拒否することと、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1 のタイプのリンクを有しないと判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する前記要求を許可することを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記 1 つ以上のレコードは、前記リレーションシップを表示する方法を特定する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記リレーションシップは、第 1 のタイプであり、前記方法はさらに、

前記第 2 のリソースに関連付けられるカウンタをインクリメントすることを含み、前記カウンタは、前記第 2 のリソースと第 1 のタイプのリレーションシップを有する、前記レポジトリ内のリソースの数を示す、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 7】

命令の 1 つ以上のシーケンスを格納するコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体であって、コンピュータシステムの 1 つ以上のプロセッサによって実行されると、

第 1 のリソースをレポジトリ内に格納する要求の前記コンピュータシステムによる受信に呼応して、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースをパースして、前記第 1 のリソースと前記レポジトリ内の第 2 のリソースとのリレーションシップを特定するリレーションシップ・データを前記第 1 のリソース内から取出しすることと、

前記コンピュータシステムが前記リレーションシップを表すリンクのタイプを判断することと、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースと前記第 2 のリソースとの間の前記リンクのタイプを使用して前記リレーションシップを特定する 1 つ以上のリレーションシップ・レコードを、データベース内に格納することとを前記 1 つ以上のプロセッサに行なわせ、

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソースとは別個に格納される、コンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項 1 8】

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソースから前記第 2 のリソースへのリンクのタイプを示し、前記リンクのタイプは、ハードリンク、ウィークリ

ンク、及びシンボリックリンクのうちの１つである、請求項１７に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項１９】

前記リンクのタイプは、ハードリンクであり、前記１つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記レポジトリにより前記第２のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第２のリソースを特定する、請求項１８に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２０】

前記リンクのタイプは、ウィークリンクであり、前記１つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記レポジトリにより前記第２のリソースに割り当てられるオブジェクト識別子により前記第２のリソースを特定する、請求項１８に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２１】

前記リンクのタイプは、シンボリックリンクであり、前記１つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第２のリソースが駐在する、前記レポジトリ内のパスを指定することで前記第２のリソースを特定する、請求項１８に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２２】

前記レポジトリから前記第２のリソースを削除する要求の受信に呼応して、前記レポジトリ内に格納される少なくとも１つのリソースが、前記第２のリソースに対して第１のタイプのリンクを有するか否かを判断するための命令と、

前記レポジトリ内の前記少なくとも１つのリソースが前記第２のリソースに対して第１のタイプのリンクを有すると判断すると、前記レポジトリから前記第２のリソースを削除する前記要求を拒否するための命令と、

前記レポジトリ内の前記少なくとも１つのリソースが前記第２のリソースに対して第１のタイプのリンクを有しないと判断すると、前記レポジトリから前記第２のリソースを削除する前記要求を許可するための命令とをさらに含む、請求項１７に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２３】

前記１つ以上のレコードは、前記リレーションシップを表示する方法を特定する、請求項１７に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２４】

前記リレーションシップは、第１のタイプであり、

前記１つ以上のプロセッサに実行されると、前記命令はさらに、

前記１つ以上のリレーションシップ・レコードを前記データベース内に格納することに呼応して、前記第２のリソースに関連付けられるカウンタをインクリメントすることを引き起し、前記カウンタは、前記第２のリソースにおいて第１のタイプのリレーションシップを有する、前記レポジトリ内のリソースの数を示す、請求項１７に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項２５】

命令の１つ以上のシーケンスを格納するコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体であって、コンピュータシステムの１つ以上のプロセッサによって実行されると、

前記コンピュータシステムが、レポジトリ内に第１のリソース及び第２のリソースを格納することを前記１つ以上のプロセッサに行なわせ、前記第１のリソースは前記第２のリソースへのリンクを含まず、さらに、

前記コンピュータシステムがレポジトリの中に第１のリソースおよび第２のリソースを格納した後、前記レポジトリに第３のリソースを格納する要求を受信することと、

第３のリソースを前記レポジトリ内に格納する前記要求の前記コンピュータシステムによる受信に呼応して、

前記コンピュータシステムが、前記第３のリソースをパースして、前記第１のリソース

と前記第 2 のリソースとのリレーションシップを特定するリレーションシップ・データを
取出しすることと、

前記コンピュータシステムが前記リレーションシップを表すリンクのタイプを判断する
ことと、

前記コンピュータシステムが、前記第 1 のリソースから前記第 2 のリソースへの前記リ
ンクのタイプの存在を示す 1 つ以上のリレーションシップ・レコードを、データベース内
に格納することとを前記 1 つ以上のプロセッサに行なわせ、

前記 1 つ以上のリレーションシップ・レコードは、前記第 1 のリソース及び前記第 2 の
リソースのいずれとも別個に格納される、コンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒
体。

【請求項 26】

前記リンクは、ハードリンク、ウィークリンク、及びシンボリックリンクのうちの 1 つ
である、請求項 25 に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項 27】

前記リンクのタイプは、ハードリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・レ
コードは、前記データベースにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト識
別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 26 に記載のコンピュータ読取可能揮
発性または不揮発性媒体。

【請求項 28】

前記リンクのタイプは、ウィークリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシップ・
レコードは、前記データベースにより前記第 2 のリソースに割り当てられるオブジェクト
識別子により前記第 2 のリソースを特定する、請求項 26 に記載のコンピュータ読取可能
揮発性または不揮発性媒体。

【請求項 29】

前記リンクのタイプは、シンボリックリンクであり、前記 1 つ以上のリレーションシッ
プ・レコードは、前記第 2 のリソースが駐在する、前記レポジトリ内のパスを指定するこ
とで前記第 2 のリソースを特定する、請求項 26 に記載のコンピュータ読取可能揮発性ま
たは不揮発性媒体。

【請求項 30】

前記コンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体はさらに、

前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除する要求の受信に呼応して、前記レポジ
トリ内に格納される少なくとも 1 つのリソースが、前記第 2 のリソースに対して第 1 のタ
イプのリンクを有するか否かを判断するための命令と、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1
のタイプのリンクを有すると判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削除
する前記要求を拒否するための命令と、

前記レポジトリ内の前記少なくとも 1 つのリソースが前記第 2 のリソースに対して第 1
のタイプのリンクを有しないと判断すると、前記レポジトリから前記第 2 のリソースを削
除する前記要求を許可するための命令とを含む、請求項 25 に記載のコンピュータ読取可
能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項 31】

前記 1 つ以上のレコードは、前記リレーションシップを表示する方法を特定する、請求
項 25 に記載のコンピュータ読取可能揮発性または不揮発性媒体。

【請求項 32】

前記リレーションシップは、第 1 のタイプであり、

前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されると前記命令はさらに、

前記第 2 のリソースに関連付けられるカウンタをインクリメントすることを引き起し、
前記カウンタは、前記第 2 のリソースと第 1 のタイプのリレーションシップを有する、前
記レポジトリ内のリソースの数を示す、請求項 25 に記載のコンピュータ読取可能揮発性
または不揮発性媒体。